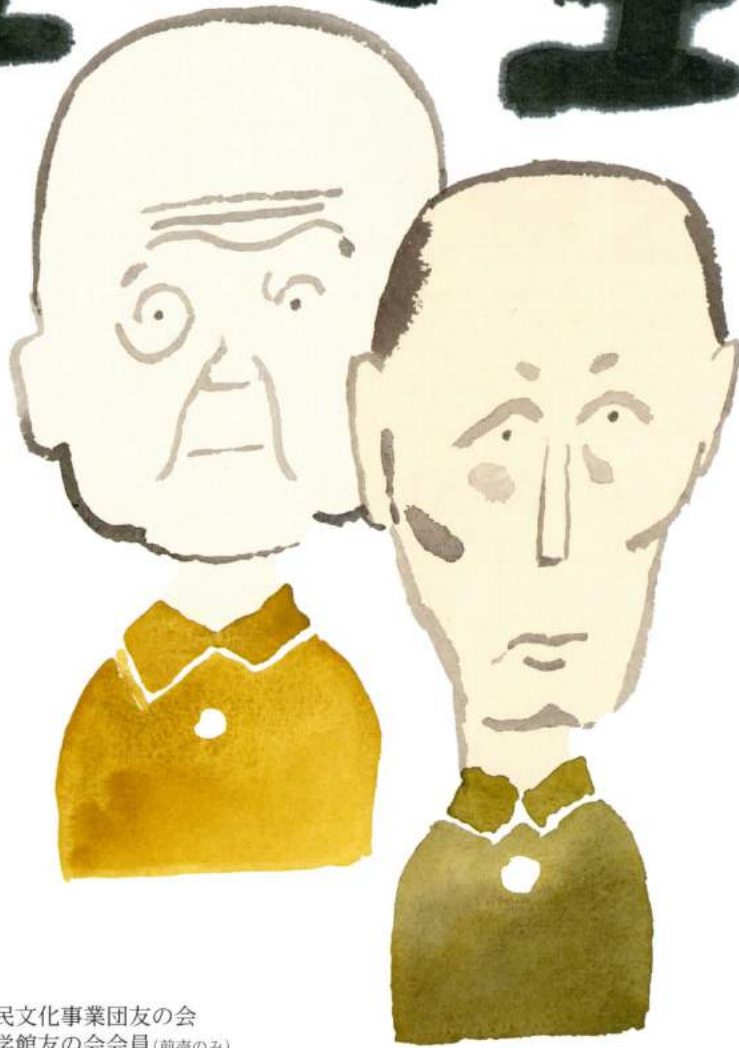


こまつ座第119回公演・日立システムズホール仙台&仙台文学館企画事業
井上ひさし 作 鶴山仁 演出

2017年10月8日(日) 開演14時(開場13時30分)
日立システムズホール仙台シアターホール

円生と志生

(集英社刊)



大森博史
大空ゆうひ
前田亜季
太田緑朗
池谷のぶえ
ラサール石井

演奏・朴勝哲

前売開始日 2017年7月7日(金)

音楽 宇野誠一郎
美術 石井強司
照明 服部基
音響 秦大介
衣裳 黒須はな子
ヘアメイク 西川直子
振付 新海絵理子
歌唱指導 満田恵子
宣伝美術 安野光雅
演出助手 生田みゆき
舞台監督 増田裕幸
制作統括 井上麻矢
制作 長山泰久
若林潤
嶋拓哉

入場料(全席指定・税込)

S席 5,800円
A席 4,800円
B席 3,800円
ユース 2,000円
(25歳以下)

市民文化事業団友の会
文学館友の会会員(前売のみ)
S席 5,500円
A席 4,500円

※ユース席はB席エリアの席になります。当日受付にて年齢確認をいたします。
※未就学児は入場できません。
※車椅子席は数に限りがございます。仙台文学館までお問い合わせください。

お問合せ

(内容) 仙台文学館 ☎022-271-3020
(チケット) 仙台市市民文化事業団 ☎022-727-1875

主催 仙台市青年文化センター(公益財団法人 仙台市市民文化事業団)

円生と志ん生

(集英社刊)

井上ひさし 作 鶴山仁 演出

好き嫌いの別や、上手下手のちがいはありましようが、はなし家は、たとえ彼がどんなはなし家であれ、その一人一人が「光」なのです。どんな名人も、一人では名人かどうかわからない。どんな上手も彼一人では、ほんとうに上手かわからない。上手と下手が、古典と新作がたがいにかついで影となつて、落語という凄く共同体をつくっている。

井上ひさし

平和は言葉を作り、「笑」を生む。戦時中の人生体験は、独特の日本の話芸を生んだ。戦争の苦労はなんのその、落語三昧に生きた話芸の天才二人の生き様とは？

円生と志ん生、共に「昭和の名人」といわれる域まで芸を作り上げた噺家。リズムとテンポで軽妙な芸を得意とする兄弟子の志ん生と心に沁みる人情話を得意とした円生。性格の違う二人は戦時中の大連巡業から、戦後の生き方まで常に一緒、笑いとともにもその奇想天外な行状行脚が史実をもとに展開する、命を懸けた珍道中。戦争という時代にあつて笑いの芸や日本人の心の情感を忘れなかつた二人の修行は、それを忘れていた私たちがへの反戦の唄だった。噺家として日本人の心の話術を打ち出した天才噺家二人の大人気評伝劇が、新キャストを迎え堂々の上演。



ラサール石井
五代目志ん生こと
美濃部孝蔵



大森博史
六代目円生こと
山崎松尾



朴勝哲
ピアノ演奏



池谷のぶえ
ベルナデッタ
ほか4役



太田緑ロランス
マルガリタ
ほか4役



前田亜季
オルテンシア
ほか4役



大空ゆうひ
テレジア院長
ほか4役

2017年10月8日(日) 開演14時
(開場13時30分)

日立システムズホール仙台 シアターホール
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 TEL 022-276-2110

入場料 (全席指定・税込)

S席 5,800円 A席 4,800円 B席 3,800円
ユース(25歳以下) 2,000円

(市民文化事業団友の会・文学館友の会会員(前売のみ))
S席 5,500円 A席 4,500円

※ユース席は、B席エリアの席になります。当日受付にて年齢確認をいたします。
※未成年は入場できません。
※車椅子席は数に限りがございます。仙台文学館までお問い合わせください。

前売開始日 7月7日(金)

プレイガイド

藤崎、仙台三越
チケットぴあ……………【Pコード/459-405】
ローチケ.com……………【Lコード/22729】
◎仙台市市民文化事業団(日立システムズホール仙台1F事務局内)
……………022-727-1875
◎仙台銀行ホール イズミティ21……………022-375-3101
◎仙台文学館……………022-271-3020
※◎印の施設では、電話予約と友の会割引が可能です。
※ユース席のチケットは、仙台文学館のみでの取扱となります。

アクセス

日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
仙台駅から市営地下鉄南北線・泉中央方面行き10分、「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分。

お問合せ (内容) 仙台文学館 022-271-3020
(チケット) 仙台市市民文化事業団 022-727-1875

主催 仙台市青年文化センター(公益財団法人 仙台市市民文化事業団)

仙台文学館では、

「円生と志ん生」の

創作資料を展示中!!

「円生と志ん生」プロット

常設展示室「一本の巨樹」井上ひさしのコーナー内では、二〇一一年に仙台文学館に寄贈された井上ひさしの自筆資料、約三万二千枚のなかから、「円生と志ん生」の創作資料を展示しています。

円生と志ん生ふたりの生涯を一枚にまとめた年譜、落語と聖書の共通点を書きしるしたメモ、構成のプロットや劇中歌の楽譜など、井上ひさしの思考の軌跡がよくわかる資料をご覧いただけます。

仙台では、今回が初めての上演となる「円生と志ん生」。作品のテーマをより深く味わうことができるこれらの資料を、公演とあわせて、ぜひご覧ください!